

分類	1-08	教科名	芸術	科目名	美術 I		
対象学科 (コース)	全学科			学 年	1	単位数	2
指 導 目 標	美術を通して豊かな感性や造形力を身につける。また、生涯にわたって美術を愛好する心情を養う。						
内 容	身近な自然やものをじっくり観察し表現できる基礎造形能力を養う。						
内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ デッサンの制作 ・ 混色表を使った作品の制作 ・ 工芸作品の制作 						
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容			予定時間	
	1 学 期 4 ~ 6 月	鉛筆によるグラデーションと透視図法について。	鉛筆の使い方に慣れるため、グラデーションやさまざまなトーンを鉛筆で表現する。 透視図を描き、遠近感について考える。			20	
		鉛筆デッサン (植物・静物)	スケッチブックに鉛筆を使用して行う。 デッサンにおける鉛筆の使用方法や表現の工夫について学ぶ。 簡単な静物を描くところから始め、少し大きなモチーフにも				
	2 学 期 7 ~ 11 月	続き	取組み、粘り強く描き込む力を身につける。			30	
混色表 名画に学ぶ (着彩)		雨天の日は混色に慣れるよう混色表の作成を行い、アクリル絵の具の基本的な使い方や他の画材との違いを学ぶ。 名画をトレースして形を写し、混色表を参照しながら着彩する。描く立場から作家の気持ちになり鑑賞を行う。					
3 学 期 12 ~ 3 月	草木染め 陶芸基礎 (抹茶茶碗) (コーヒーカップ)	校内の植物から色を抽出し、染める体験をする。 陶芸について一通りの知識を養う。 手びねりで抹茶茶碗を作る。 たたら作りでコーヒーカップを作る。			20		
教科書・副教材他	高校美術 1 (日本文教出版)						

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
作品の完成度	◎	○	◎		
制作態度	◎	○			
鑑賞	◎	○		◎	